

令和6年10月13日 泉佐野 町場ウォーク

参加者 44名 距離 5Km 難易度○



泉佐野駅



さの町場

秋晴れの最高の例会日和となり、たくさんの人に参加してもらい、楽しい一日となりました。今日は、泉州地区のだんじり祭りと重なり、交通の手段で苦勞された方もあったようです。一番嬉しかったのは、久しぶりに参加された方が多く、一緒に歩けたことです。

泉佐野駅

スタート・点呼・体操



若宮地蔵尊

五体の地蔵像があり、江戸時代後期海から引き揚げられたという伝説もあるようで、地元の人々が篤い信仰を集めている。

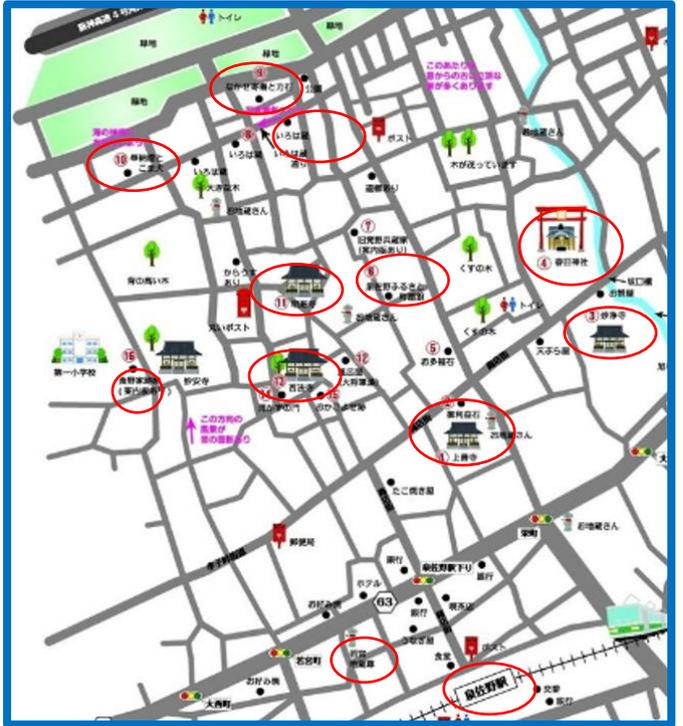


さの町場

天然迷宮都市 さの町場マップ

江戸時代中期から幕末にかけて北前船による廻船業や商業を行うほか、大名貸や御用金などの金融業も行い、巨財を築いた食野家があった場所です。江戸時代～明治・大正・昭和～現在、それぞれの時代ゆかりの場所やものに出会えます。

みんなで迷路のような道を探索しました。



めしのけ

食野家跡地碑



現在は泉佐野市立第一小学校になっている



さいほうじ

西法寺



貝塚いぶきの名木は 880 年



開かずの門



江戸時代以前からの創建で食野家の菩提寺。食野家が寄進した鼓樓門は食野家のみが通ることができる参拝口。(今は開かずの門)

「おかごよせあと」は紀州の殿様や大名が駕籠から降りる場所。

旧大將軍湯



みょうごんじ
明厳寺



奉納塔

なかよせ場とカ石



りんくう北公園

トイレ休憩



北前船の海の男たちが力ためして
使った石。一個重さは 150 kg



近所の 34 期大工さんにアイスの差入れ頂きました。



アフリカ人が描いたという
『壁画アート』

いろは四十八蔵

かつては海岸一帯にずら
りと建ち並んだ食野家の
蔵。現在は約 10 軒程度
の蔵が残されている。後
方にゲートタワーが見え
るので写真スポット。
(いろは蔵通り)



ふるさと町屋館



にいがわけ

旧新川家住宅で江戸時代中期の商家建築。ここでは、観光ガイドの方たちに説明を受けたり、建物の中の見学をさせてもらったり楽しい時間を過ごしました。採れたて野菜や果物もたくさん買うことが出来ました。巨万の富を築いた食野家がどうして消えたのか質問したり、とても熱心に聞いておられました。(さすが健老生) 資料も色々準備して頂きありがとうございました。



1897年設立の泉陽銀行の跡地で
蔵の石積みに「お多福石の彫刻」

春日神社

1376年建立と古く、応仁の乱や秀吉の根来寺攻めの時に2度焼失。再建され佐野の総社に。7月夏祭りに3基の太鼓台が練りまわる。一海さん説明



みょうじょうじ ぼんしょう

妙浄寺の梵鐘

佐野の大富豪、唐金家が出資し造られ、1682年春日大明神に奉納品された。明治の神仏分離後、妙浄寺へ。熱心に一海さんの説明を聞いています。



じょうぜんじ

上善寺



500年前に建てられた古いお寺。泉州の大仏と言われる黒大仏、水掛観音が有名。



泉佐野駅

ゴール・体操・解散

色々バラエティーに飛んだコースで、見るものが多すぎて最後は疲れてしまいました。それでも途中、秋を感じながらみんな完歩出来て良かったです。あの暑い夏がやっと終わりました。



おまけ

貝塚のだんじり祭、初めて見ました。お店も出て賑やかでした。

